平成２０年６月５日　Ｎｏ．２６

総合学習センターだより

発行：相模原市立総合学習センター
〒229-0039 相模原市中央３丁目 12 番 10 号
ＴＥＬ０４２（７５６）３４４３
ＦＡＸ０４２（７５８）８１４６
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.sagamihara-kng.ed.jp

「知の循環型社会の構築を目指して」

総合学習センター所長　稲葉　茂

平成２０年２月１９日に「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について」という中央教育審議会の答申が出されました。

答申では、社会の変化や要請に対応するために必要な力として次の２点が述べられています。

〇次代を担う子どもたちに必要な「生きる力」

> 子どもたちに必要とされる「生きる力」は学校教育のみならず、実社会における多様な体験等と相まって伸長していくもの。

⇩

> 子どもたちが学校の内外で、発達段階に応じて「生きる力」を育むことができる環境づくりが求められる。

〇成人に必要な変化の激しい時代を生き抜くために必要な力

> 変化の激しい社会を、自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力を身につける。

⇩

> 生涯にわたって学習を継続でき、その成果を適切に生かせる環境づくりが求められている。

このような力の育成には、「知の循環型社会の構築」が大切であるとまとめられています。

平成１３年に開所した当センターは、この中教審答申を６年も前に先取りし、次のような事業を展開しております。

●学校と地域の協働推進事業

「人間性豊かな子どもの育成」と「いきいきとした市民の活動」をめざして公民館を核に学校と地域が結びつく活動を展開しています。

写真は、学校と公民館に、児童と地域住民に向けて共通の掲示板が作成された例です。

●市民大学事業

１５才以上の市民を対象に市内の大学・専門学校と連携して市民の学習ニーズと社会が抱える諸課題について学習する機会を提供しています。　昨年度は１６００名以上の市民のみなさんが受講されました。

総合学習センターでは、これ以外に市内の研究機関と連携した「研究機関等開放講座」、市民等の団体が主催する学習機会や学校の授業に市職員が出向いて市の仕事などを説明する「生涯学習まちかど講座」等も実施しています。

さらに教職員向けに各種研修及び研究を行っています。また、教育活動推進上のタイムリーな話題を特集した教育情報誌「さがみはら教育」の発行も行っています。

このように当センターでは、平成１３年開所以来「生涯学習社会の実現」に向け取り組んでいます。

しかし、開所当時と比べ、中核市移行や津久井地域との合併等、社会的な背景が大きく変化してきています。

今後の政令市移行も視野に入れ、**「知の循環型社会の構築」**をめざして総合学習センターのあり方を検討していく必要があると感じています。

同時に相模原市教育委員会が、平成２０年２月に市内の全ての公立学校が子どもたちにとって魅力ある学校となることをめざして「さがみはら　未来をひらく学びプラン」を策定しました。

今年度、当センターでは、この学びプランに述べられている「（仮称）教師養成塾の創設」などが実現できるように、所員一丸となって取り組んでいきたいと考えております。